

## 【ヤゴの飼い方のご案内】

### 《はじめに》

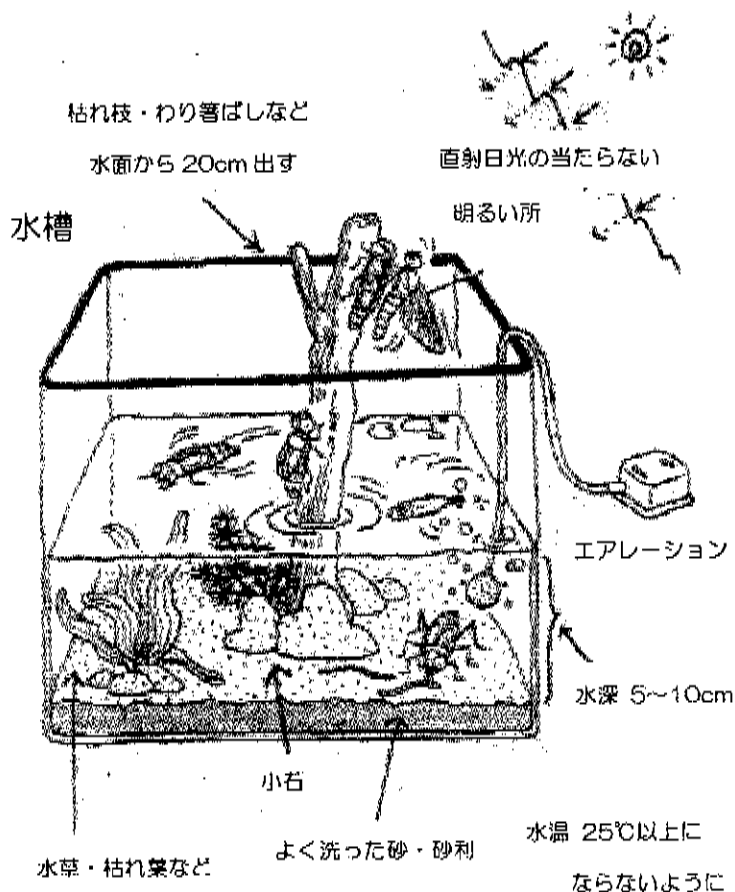
- ・ 6 月から 7 月にかけて、ヤゴは羽化してトンボになります。
- ・ 羽化したトンボを飼育するのは難しいことなので、羽化したら空にはなしてあげましょう。

### 《水》

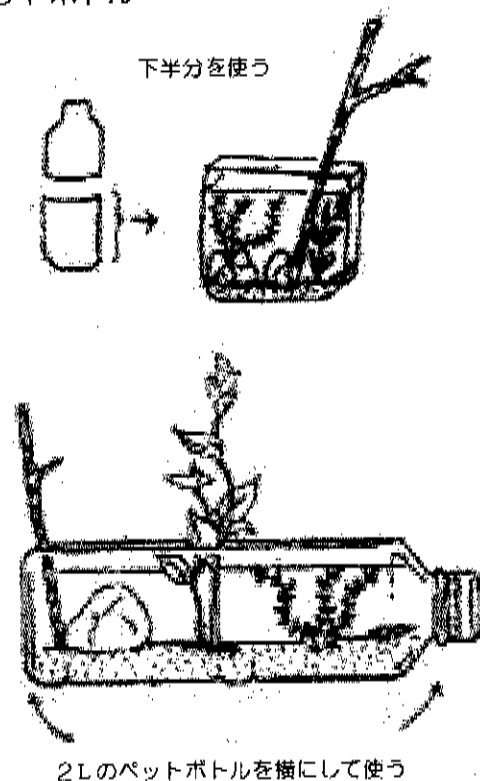
- ・ 24 時間以上汲み置きし、カルキを抜いたものを使いましょう。(塩素中和剤を使っても良いです)
- ・ 最初はプールの水を使っても良いです。

### 《水槽》

- ・ プラケースやペットボトル、苳パック容器、ジャムなど広口ビンでも良いですが、共食いするので容器が小さい場合は 1 ケース 1 匹で飼育します。
- ・ 水草・小石・落ち葉・棒などは、ヤゴがつかまって休んだり隠れたりする場所になります。
- ・ エアレーション(エアポンプ)を使うと、水質の維持に役立ち、ヤゴが元気に育ちます。
- ・ トンボになるときは、棒・枯れ枝などに登って水の中から出てきます。枝が倒れたりしないよう、剣山にさしたり小石で押さえておきましょう。
- ・ 水温は 25℃ 以上にならないよう気をつけましょう。直射日光には要注意です。



### ペットボトル



## 《エサ》

- ・ヤゴは肉食で、生きたものを食べます。(アカムシ、ミミズ、ボウフラ、ミジンコ、メダカ、オタマジャクシなど)
- ・釣具店に行くとエサ用のアカムシやミミズを売っています。大きなミミズはヤゴの方がこわがります。
- ・エサが足りないと共食いを始めます。様子をよく見ながら、適量を与えましょう。余ったエサは水の汚れ防止のため、はしでつまんで捨てましょう。
- ・生きた虫の保存ができない、また苦手な場合は冷凍アカムシがあります。ヤゴは動いているものに反応して食べるので、解凍してもそのままでは食べてくれません。はしやピンセットでつまんでヤゴの目の前でゆっくりゆずってやると食べます。

## 《羽化が近づいた時の様子》

### [翅芽(しが)の変化]

- ・翅芽は羽になる部分です。羽化が近づくと翅芽は発達し、4本の円筒状になって伸び、付け根の部分も盛り上がってきます。

### [行動の変化]

- ・羽化棒につかまり、水面近く、あるいは水面から顔を出すことが多くなります。えら呼吸から気門呼吸に変わるためです。

### [下あごの変化]

- ・成虫では下あごを必要としないため、次第に後退し、羽化直前には下あごの部分は完全にからになり、透明になります。そのためエサを食べなくなります。

### [体の変化]

- ・羽化の4、5日前になると、胸の部分など、からが透けて体の色が見えるようになり、その色は次第に濃くなっていきます。複眼が発達し、中央に向かって大きくなります。

## 《羽化観察の注意点》

- ・羽化するのは、ほとんどが夜中です。あまり強い光を当てないようにしましょう。
- ・羽化が始まったら大きな音をたてず、手で触らないように離れて静かに観察しましょう。

## 《引用・参考サイト》

<http://www.aqua-k.net/tonbo/index.html>